

青森県沖におけるGNSS-A観測概要と 今回の地震で期待される変位量

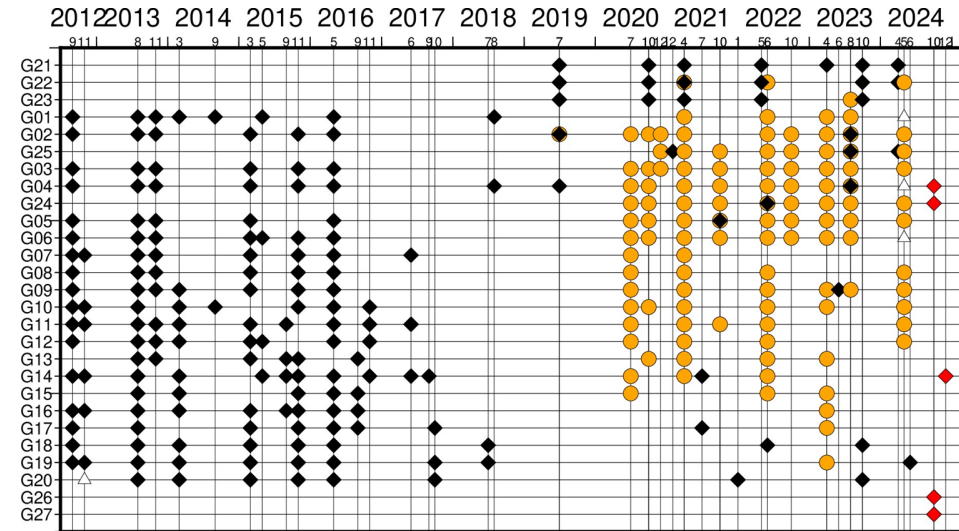
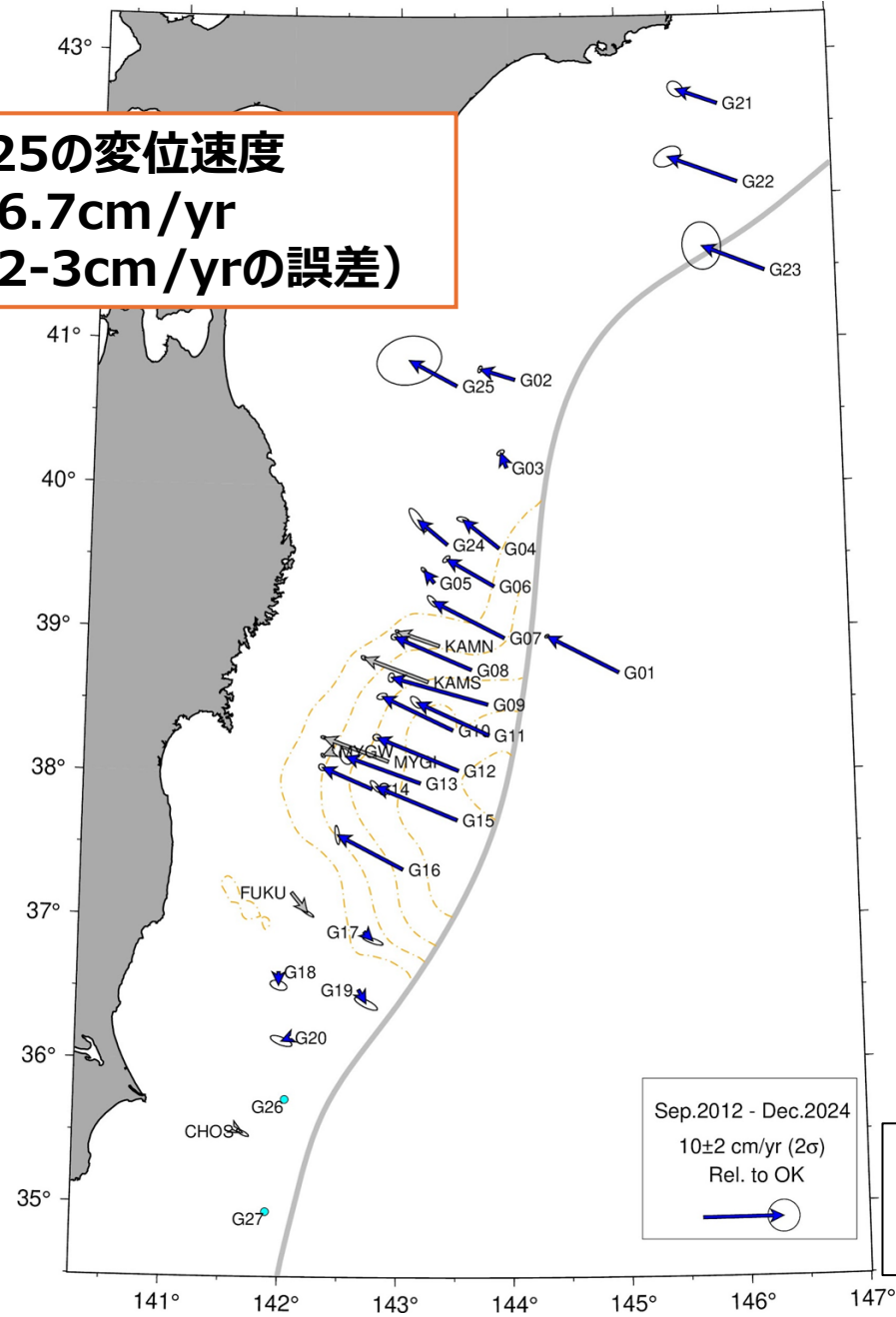
東北大学
海洋研究開発機構



GNSS-A観測概要

2025-03-11 地震調査委員会（第411回）資料
東北大・海洋研究開発機構・北大・東京海洋大
より

**G25の変位速度
約6.7cm/yr
(2-3cm/yrの誤差)**



日本海溝・千島海溝沿いでのGNSS-A観測状況

◆：船舶観測，●：Wave Glider観測，
◆：船舶観測，●：Wave Glider観測（前回報告時より追加）
△：観測機器の不良により報告に用いないデータ

2019年～

根室半島沖における観測を開始

三陸沖の観測網を拡張

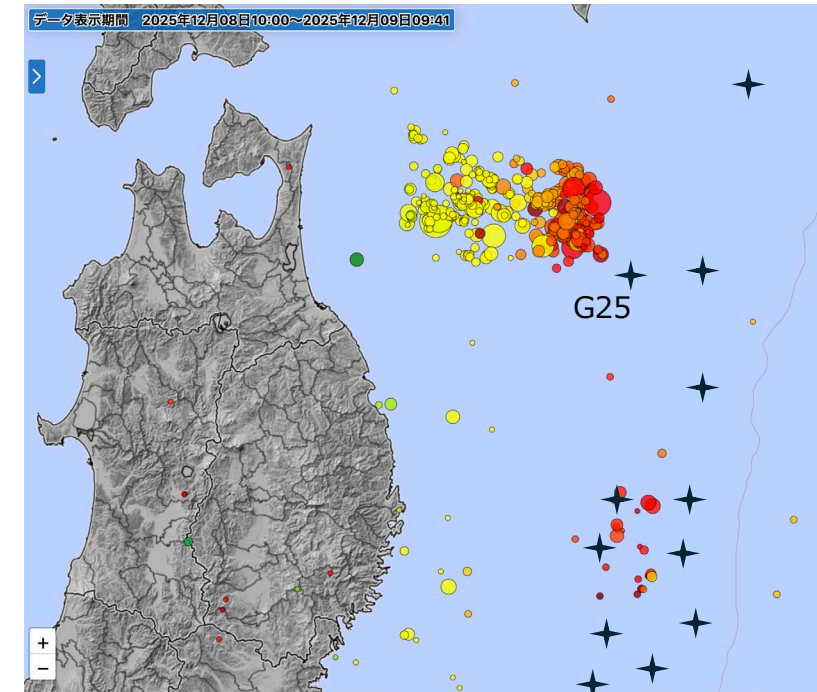
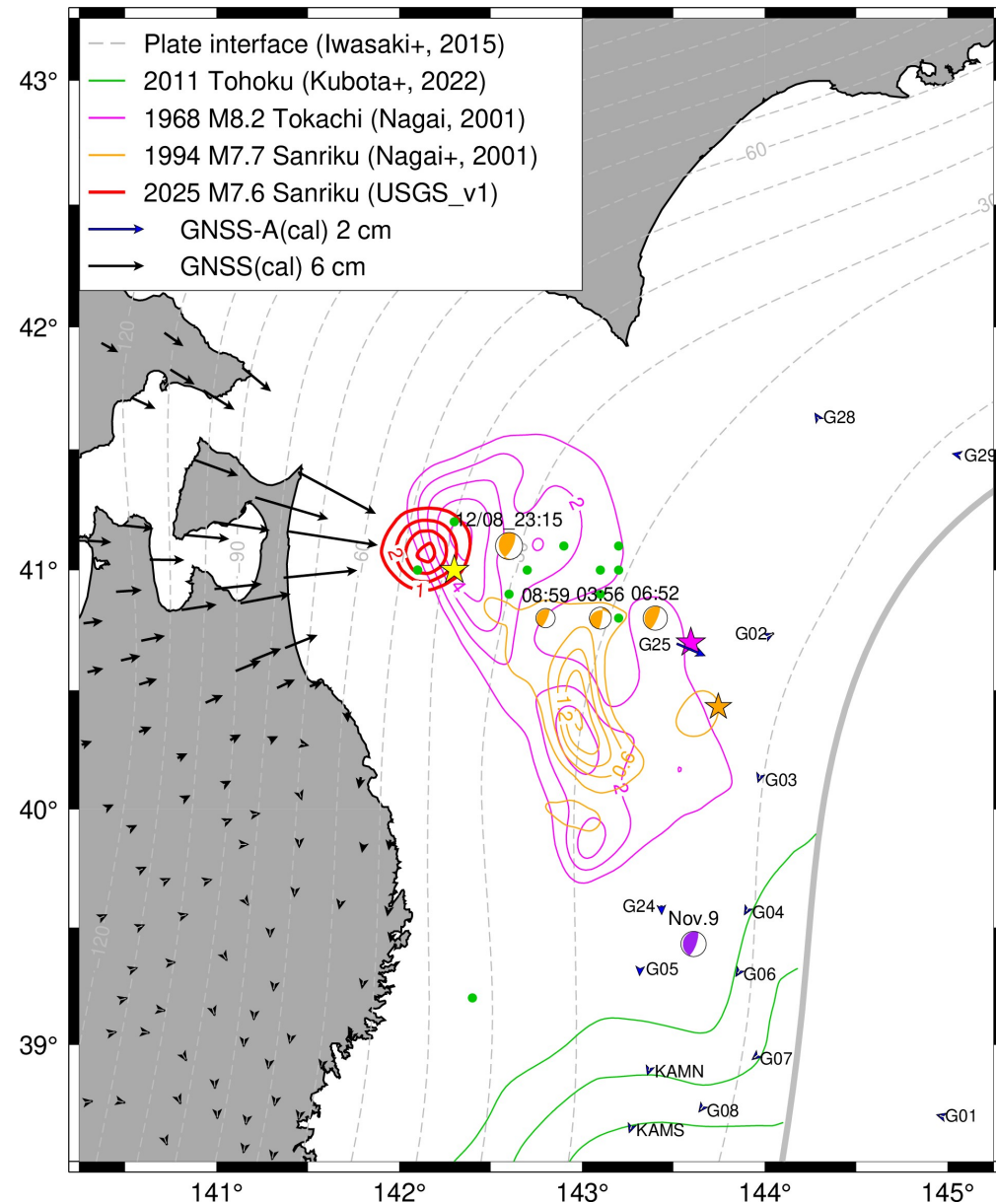
2020年～

Wave Gliderを活用した高頻度観測

2012/09–2024/12 での
GNSS-A変位速度 (2σ誤差楕円)
橙色コンター：Kubota et al. (2022)に
よる2011年東北沖地震時すべりモデル



GNSS-A観測点で今回の地震時に期待される変位量など



気象庁HPより

- 今回の震源に近いG25の変位速度は約7cm/yr（前頁）
- USGSの滑り分布（Ver.1）から期待される地震時の水平変位分布は左図のようになる
- G25で期待される変位は1cm程度
- 余震がG25の近傍でも発生（上図）
- 蓄積されている滑り遅れは、今後余効すべりや1994年滑り域等の周辺での地震性すべりで解消される可能性